

淀川河口と神崎川河口に挟まれた海岸は、江戸時代、京都の矢倉九右衛門により新田として干拓されたため、「矢倉海岸」と呼ばれています。

矢倉海岸に向かう途中の大野川緑陰道路の林ではスズメやムクドリ、シジュウカラのほか、この時期には、ツグミやシロハラ、ジョウビタキなどの冬鳥たちが生息しています。淀川の堤防からは、ホシハジロやスズカモ、キンクロハジロのほか、カンムリカイツブリやハジロカイツブリ、鉄塔のミサゴなども観察することができます。

厳しい寒さを乗り切るために渡って来た海辺の鳥たちの姿をじっくりと観察しましょう。

やさしいきもち 野外活動、無理なく楽しく
採集は控えて自然はそのままに
静かに、そーっと
一本道、道からはずれないで
気をつけよう、写真、給餌、人への迷惑
持って帰ろう、思い出とゴミ
近づかないで、野鳥の巣

あおぞら財団共催
淀川河口 矢倉緑地

2025年3月16日(日)



担当：あおぞら財団

藤村	はるえ	嶋	宏子
橋本	俊昭	杉本	マサ子
山下	保子	石川	良隆
上村	賢	(090-8653-9165)	

淀川河口 矢倉緑地		2024	2025年		よどがわかこう やぐらりよくち			2024	2025年	
		2	3月					2	3月	
		23	16日					23	16日	
		天候 雨	くもり・雨					てんこう あめ	くもり・あめ	
みつけた鳥・きいた鳥		確認	姿	声	みつけたとり・きいたとり			かくにん	すがた	こえ
26	オカヨシガモ	○	○		383	カワセミ	○			
27	ヨシガモ				390	コゲラ				
28	ヒドリガモ	○	○		401	チョウゲンボウ				
29	アメリカヒドリ				407	ハヤブサ				
30	マガモ				420	モズ	○	○		
32	カルガモ	○	○		435	ハシボソガラス	○			
34	ハシビロガモ				436	ハシブトガラス	○	○	○	
35	オナガガモ	○			442	ヤマガラ				
38	コガモ	○	○		445	シジュウカラ	○	○	○	
42	ホシハジロ	○	○		457	ツバメ	○			
46	キンクロハジロ	○	○		452	ヒバリ				
47	スズガモ	○	○		463	ヒヨドリ	○	○	○	
57	ホオジロガモ				464	ウグイス	○			
58	ミコアイサ				485	メジロ	○	○	○	
59	カワアイサ				506	ムクドリ	○	○	○	
60	ウミアイサ		○		521	シロハラ		○	○	
62	カイツブリ	○	○		525	ツグミ	○	○	○	
64	カンムリカイツブリ	○	○		540	ジョウビタキ	○	○	○	
66	ハジロカイツブリ		○		549	イソヒヨドリ	○	○	○	
74	キジバト	○	○		569	スズメ	○	○	○	
78	アオバト	○			574	ハクセキレイ	○	○	○	
127	カワウ	○	○		575	セグロセキレイ				
139	ゴイサギ				580	ビンズイ				
144	アオサギ	○	○		587	カワラヒワ	○	○	○	
146	ダイサギ		○		610	ホオジロ				
148	コサギ		○		624	アオジ				
175	オオバン	○	○		628	オオジュリン				
195	ケリ									
202	イカルチドリ									
203	コチドリ		○							
244	イソシギ	○	○							
261	ハマシギ									
286	ユリカモメ									
293	ウミネコ									
294	カモメ									
299	セグロカモメ	○	○							
301	オオセグロカモメ									
339	ミサゴ	○	○							
342	トビ	○	○		※	カワラバト(ドバト)	○	○	○	
349	チュウヒ									
356	オオタカ									
355	ハイタカ									
358	ノスリ									
					合 計			36	36	13
									36	